

国語

注 意

- 1 問題は【一】から【二】まであります。
- 2 時間は50分です。
- 3 答えはすべて解答用紙に明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 4 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。

〔一〕次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

次の文章は、経済学者である筆者が、繁昌亭はんじやうていという上方落語注2の寄席よせで上演された落語について、経済学的な視点から解説をしているものである。

繁昌亭で当日上演された噺はなしは、いずれも価格の不思議さを笑いのもとにしたものだ。なかでも、「千両みかん」は、価格と価値の関係をうまく描写している。この話をしっかりと読み解くことができれば、あなたの経済学の理解度はかなり高いことになる。

千両みかんの内容を簡単にシヨウカイしよう。八月のある日、呉服屋の若旦那わかだんなが急に明日をも知れぬ重病になる。医者によれば心の病であり、心に思っていることがかなえば全快するという。大旦那おおだんなが番頭ばんとうに、欲しいものを聞き出すように命じると、みかんが食べたい、ということだ。しかし、江戸時代なので、夏にはみかんがない。番頭は、何とんでもみかんを手に入れてこい、と大旦那に言われる。ようやくたどり着いたのが、天満のみかん問屋である。そこで、無傷のみかんが一つ見つかる。みかん問屋が言う値段注4は千両。番頭は大旦那に相談すると千両でみかんを買えということになった。若旦那は一〇房のうち七房を食べたところで、残りを両親に二房、番頭に一房食べてもらうように、番頭に差し出した。ロウカbに出たところで、番頭は、「三房で三〇〇両の価値があるみかん」を持って逃げることに決めた。

②「千両みかん」の笑いのポイントは、モノやサービスに対する私的価値を共通価値と混同してしまうところである。私たちは、ある品物の価値と言われると、即座にいくらかで売れるかという価格のことを思い浮かべる。そういう意味で、価格と価値は同じものだと考えることが多い。この番頭も、大旦那の私的価値としてついた千両という価格を、共通価値と同じだと思込んでしまったのだ。しかし、少し考えてみればわかるが価格と価値、特に私的価値は異なるものだ。

昔、「一〇〇円でポテトチップスは買えますが、ポテトチップスで一〇〇円は買えません」という藤谷美和子のテレビCMがあった。一九七六年のことなので、これを知っている人は、それなりに歳を取っている人だということになる。一〇〇

円でポテトチップスが買えても、ポテトチップスは必ずしも一〇〇円で売れないというのは、人によってポテトチップスに与える価値が違うということを意味している。

モノの価値は人によって違う。同じペットボトル一本の水でも、喉が渴いている人とそうでない人では、その価値が全く違うのは明らかだ。ところが、水の価格は人によって異なることはない。一般に、価格というのは、需要と供給で決まる。

その時成立する価格というのは、売った人の中でもっとも売りたい人がぎりぎり売ってもいいと思つている価格であり、買った人の中でもっとも買いたくないと思つていた人が買つてもいいと思つていた価格なのである。ぎりぎり買うことに決めた人以外は、買い手が最大限出してもいいと思つていた価値より安い価格で買つているのだ。だからこそ、売買という交換によって人々は得をするのだ。

あるモノやサービスについて、その私的価値と市場価格を比べて、私的価値の方が価格よりも低い人が売り手になり、私的価値の方が価格よりも高い人が買い手になる。これが交換の利益が発生する理由である。したがって、モノを保有している人は、市場価格よりもそのモノに対する私的価値が大きいかからこそ保有しているのである。

④ 特殊な場合には、私的価値に近い価格で取引が行われることがある。千両みかんの場合は、売り手が一人で買い手がどうしても欲しい、という状態なので、売り手は買い手が買つてもいいぎりぎりの値段で売ることができる。言ってみれば、ネットオークションで一番高い値段をつけた人に売るようなものだ。

もっとも高い値段をつけた人が買つているのだから、転売しようとすれば、必ずそれより低い値段しかつかないはずだ。

これが、オークションでいう「勝者の呪い」である。「勝者の呪い」というのは、オークションで落札できる人は、その品物の価値を過大に評価した人だから、必ず損をするというものだ。もちろん、オークションで手に入れた品物を転売する気がなければ「勝者の呪い」は発生しない。他人よりも高い私的価値を自分もつていたとしても、それは自分が損をするこゝとにならない。ところが、転売して儲けるとか、その品物を使って儲けようという場合には、損失をコウムるという意味で

「勝者の呪い」にかかってしまう。プロ野球選手がどの球団とも選手契約できるフリーエージェントになった場合、複数の球団のなかで一番高い年俵やイセキ金をオファーしたところが選手を獲得する。しかし、しばしばその選手の活躍は期待は

ずれということになりがちだ。

つまり、みかん一個に千両という値段がついたのは、みかんに対する大旦那の私的価値とほぼ等しい金額を、みかん問屋がつけることに成功したからである。売り手独占の状況で、みかん問屋はどうしてもみかんを売らなければならぬという状況にはなく、大旦那はどうしても欲しい、という状況であるから、大旦那の私的価値にかなり近い価格がついたのである。それでも、大旦那にとつても私的価値の方が千両という価格よりも高いから、みかんをコウニユウすることで得をしている。競争的な状況であれば、みかんの売り手は多数いるため、売り手間の競争が発生して、市場価格はみかんを売ってもいいぎりぎりの人とみかんを買ってもいいと思うぎりぎりの人の価値が一致する値段で取引される。したがって、それ以外の人々は、私的価値より価格が高い人が売り手になり、逆の人が買い手になることで、大多数の人はみかんの売買によつて得をするのである。

(おおたけふみお大竹文雄『競争社会の歩き方』)

注1 上方⇨京都、大阪、およびその周辺の地域。

注2 寄席⇨落語・講談・漫才などの演芸をみせる場所。

注3 番頭⇨商店や旅館などの使用人の中で一番上の地位にある人。

注4 千両⇨一両は今の価値でおよそ五万から十万円。「千両みかん」の話では、番頭が逃げる前に「自分が来年独立して店を出すときにももらえるのはせいぜい五十両だ」と考える場面がある。

注5 藤谷美和子⇨女優。

問1 〰線 a k e のカタカナを漢字に直せ。

問2 〰線①「価格と価値の関係をうまく描写している」とあるが、「価格」と「価値」はそれぞれ何によって決まるのか。三十五字以内で答えよ。(句読点を含む)

問3 〰線②『千両みかん』の笑いのポイント」とあるが、それは何か。最も適当なものを次のア～エの中から一つ選んで、記号で答えよ。

ア 無傷のみかんなら千両という価格が共通価値として付くが、食べかけのみかんに三百両の価値はないにもかかわらず、番頭がみかんを持ち逃げしたこと。

イ みかんの共通価値は通常であれば千両もないにもかかわらず、病気の息子のためとはいえ、大旦那がたかがみかん一個に千両も払ってしまったこと。

ウ みかん一個に付けられた千両という価格を、番頭が共通価値だと勘違いをし、三百両を手に入れたつもりになって、逃げることに決めたこと。

エ 番頭が、みかん一個に対する私的価値と、大旦那の共通価値を混同してしまい、食べなければ価値のないみかんを食べずに逃げてしまったこと。

問 4

——線③「売買という交換によって人々は得をする」とあるが、「千両みかん」の話において、みかん問屋はなぜ得をしたと言えるのか。また、大旦那はなぜ得をしたと言えるのか。「私的価値」という言葉を必ず用い、百二十字以内で答えよ。(句読点を含む)

問 5

——線④「特殊な場合」とあるが、ここで言う「特殊な場合」に当てはまらないものを次のア～オの中から二つ選んで、記号で答えよ。

ア ネットオークションを使い、ずっと欲しいと思っていた車を落札した。

イ 靴屋に行った時に、自分のサイズの靴がなかったので、他店から取り寄せてもらって買った。

ウ 外出先で素敵なバッグを見つけ、思わず買ってしまった。

エ テレビを買いに行った時に、値段が予算を上回っていたが、値引き交渉をしたため買うことができた。

オ 素晴らしい絵画なので売り手が提示した値段よりも高い値段で買った。

問 6

スーパーで、新製品のペットボトルのお茶を一本百五十円で売り出したところ、全く売れなかった。あなたが店長ならば、売れなかった理由をどのように分析し、この商品を売るためにどうするか。本文の内容をふまえ、「価格」と「私的価値」という言葉を用いて述べよ。

〔二〕次の文章を読んで後の問いに答えよ。

東照宮浜松におはしませし頃、ある夜本多正信御前にありしに、誰人にてかありけん、懐より書を取り出し、『諫め奉

るべし』と、かねてより存ずる事の候ひて書き候ふものなり。」と申せば、大いに喜ばせ給ひ、「それ読め。」と仰せありけ

れば、開きて読みけるに、一条読み終はる度ごとになづかせ給ひ、「もつともなり。」と仰せられ、読み終はりければ、汝

が志感ずるに言葉なし。これより後も心置きなく告げよ。返す返すも神妙なり。」と繰り返し仰せければ、忝きよし申し

て退出す。

正信居残りて、「ただ今諫め申せし事用ふべき事に候はず。」と申す。東照宮大いに気色変はらせ給ひ、「いや、そうではない、

己が過ちは知らずして過ぐるものなり。国を領し人を治むる身には、過ちを告げ知らせ諫むる者は少なくて、唯だ諂ひて

主君のいふ事、道にたがひても、さは候はじと言葉を返す人はなきぞかし。諫めを防ぎし人の国を失ひ身を亡ぼし、後の世

の笑ひ草となりしたためし多し。ただ今我を諫めし者、日頃心を尽くし、見およぶ様に付き、諫めんと思ひて書きしるし、

時もあらば見せんと思ひたりし志、何にたとへんやうなし。其の用ふべきと用ふべからぬとにはよらざるなり。唯だ彼が

忠心を愛するなり。」とぞ仰せける。

(湯浅常山『常山紀談』)

* 出題にあたり、一部本文を改めたところがある。

注 1 東照宮 徳川家康のこと。

注 2 浜松 今の静岡県浜松市にあつた浜松城。

注 3 本多正信 徳川家康の重臣。この夜、家康の側近くそばに控えていた。

注 4 諫め奉る 家臣が主君の過ちや間違いを忠告して改めさせること。その書状(手紙)を「諫言状」と言う。

問 1 線 I 「たがひても」、II 「思ひゐたりし」について、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して、全てひらがな

で答えよ。

問2

~~~~線 a 「誰人にてかありけん」、b 「汝が志感ずるに言葉なし」、c 「何にたとへんやうなし」の意味として最も適当なものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えよ。

a 「誰人にてかありけん」

ア いったい誰であろうか

イ そもそも誰でもよかった

ウ 結局誰でもなかった

エ 誰でもいいのだろうか

b 「汝が志感ずるに言葉なし」

ア お前の願いは言葉足らずであろう

イ お前の外的れの考えには何も言えない

ウ お前の忠義の心に感動して言葉もない

エ お前の言葉には心がこもっていない

c 「何にたとへんやうなし」

- ア 何に置き換えても変わらないだろう
- イ たとえるものがないほど素晴らしい
- ウ 何かにたとえてしまつては台無しだ
- エ たとえるものがなくても変わらない

問3

——線①「仰せありければ」、②「退出す」、③「申す」の主語として最も適当なものを、次のア～ウの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えよ。

- ア 東照宮
- イ 本多正信
- ウ 東照宮に諫言状を渡した武士

問4

——線④「諫めを防ぎし人の国を失ひ身を亡ぼし」とあるが、なぜ「家臣が自分を諫めることを許さなかつた主君」が自国を滅ぼしてしまうのか。その理由を、本文の内容をもとに百十字前後で答えよ。(句読点を含む。二文から三文で答えてよい)

問5

東照宮は、この武士の諫言について、内容よりも何に感心したのだろうか。それがわかる部分を第二段落から十字前後で抜き出して書け。(句読点を含まない)



|               |
|---------------|
| 受験番号          |
|               |
| 得点            |
|               |
| 30<br>高校 - 特奨 |

|    |    |
|----|----|
| d  | a  |
| 移籍 | 紹介 |
| e  | b  |
| 購入 | 廊下 |
|    | c  |
|    | 被る |

問2  
人の価格は需要と供給により決まる。決まり、価値は個人

問3  
ウ

問4  
みかんな問屋は、状況みかんをどくし、売ると私的価値が低かった。値下げする。

問5  
イウ

問6  
自分がつけた価格よりも客の私的価値が低かったために売れなかったと分析し、客の私的価値に近い価格に値下げする。

問1  
I たがいても II おもいいたくし

問2  
a ア b ウ c イ  
問3  
① ア ② ウ ③ イ

問4  
主君が間違いないを犯したりと、主に家臣は主君の気に入るといふ。許さぬ。主君に忠告する。家臣は主君の

問5  
彼が忠心を愛するなり